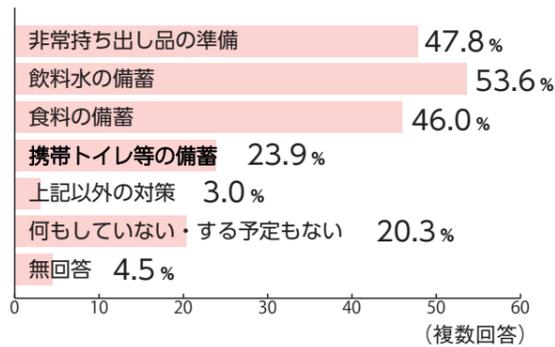


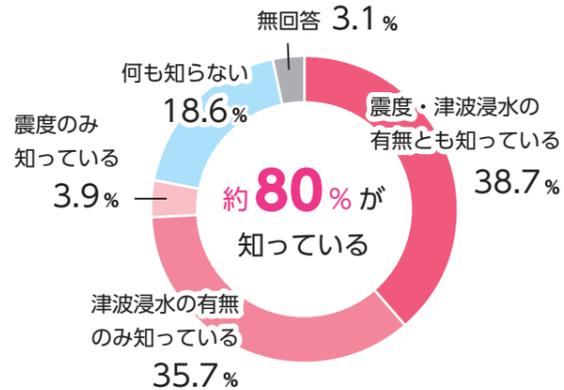
### ? 災害への備えとして 備蓄をしていますか



飲料水や食料、携帯トイレの備蓄日数は「3日分」が一番多く、次いで「2日分」「4～7日分」の順となっています。国等からの物資支援は災害が起こってから4日目以降となりますので、それぞれ必要なものを十分な量用意しておくようにお願いします。

「守った命をつなぐ対策」として、各ご家庭での備蓄をお願いします。

### ? 想定されている震度や 津波浸水を知っていますか



何も知らない方が20%近くいることが分かりました。南海トラフ地震が起こったときに、自宅や職場のある地域でどのくらいの規模の災害が想定されているか、ハザードマップ等でご確認ください。

「命を守る対策」を、引き続き皆さんとともに進めるために広くお知らせしていきます。

## 令和3年度市民意識調査の結果報告

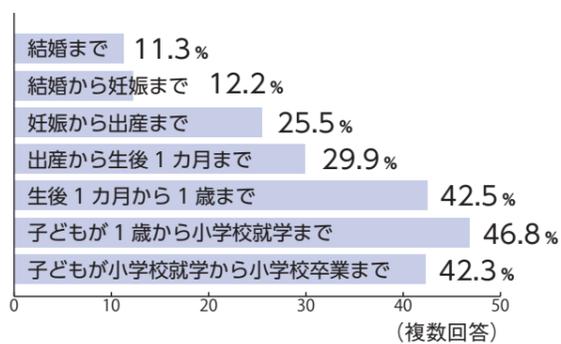
### 特集1 みんなはどう思ってる? 高知市のこと

市では、市政のさまざまな分野に対する市民の皆さんのニーズを把握するために、毎年市民意識調査を実施しています。今回の調査は、無作為に抽出した満20歳以上の市民3,000人を対象とし、1,417人の方からご回答いただきました。

詳しい結果は、政策企画課HPで公開しています。また、調査結果報告書は情報公開・市民相談センターでもご覧いただけます。



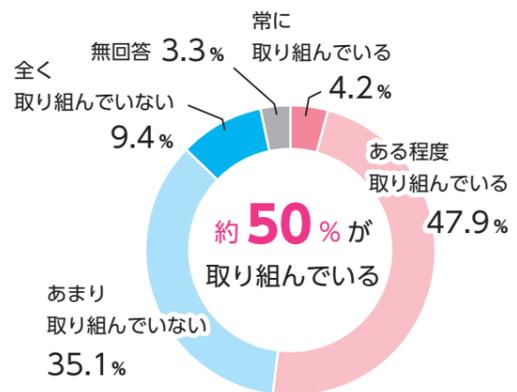
### ? 子どもを生ま育てる環境への 支援はいつが重要ですか



前回調査では「小学校就学から小学校卒業まで」が最も多かったですが、今回は「1歳から小学校就学まで」が最も多くなるなど、全体的に出産から小学校就学までの支援ニーズ（子どもの健康管理、育児・子育て相談等）が高まっていることが分かりました。

今後も地域子育て支援センター等を拠点として、地域ニーズに対応した子育て支援の充実をめざします。

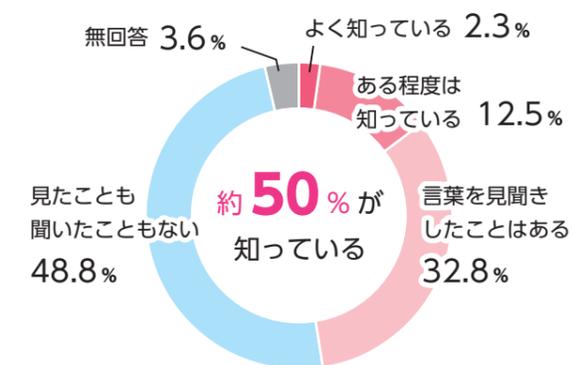
### ? 地球温暖化防止のための 取り組みをしていますか



地球温暖化防止のための取り組みを行っている方の割合は約50%と、前回調査から6.4ポイント増加しています。地球温暖化への関心だけでなく、行動に移している方が多くなっていることが伺えます。

一人一人の行動が大きな成果につながります。引き続き、取り組みの継続をお願いします。

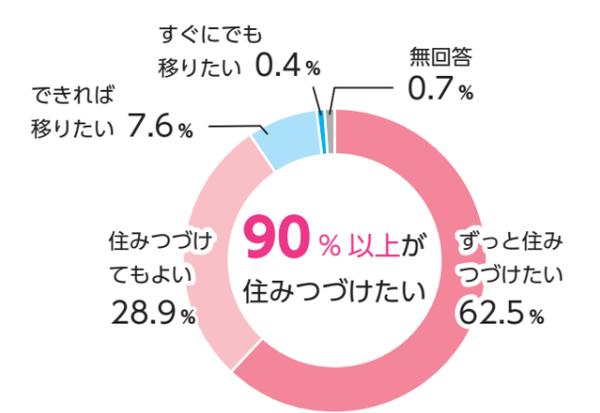
### ? 高知市にじいろのまち宣言を知っていますか



「高知市にじいろのまち宣言」は、一人一人の性のあり方を尊重し、個性や生き方を認め合い支え合うまちをめざし、宣言したものです。50～74歳までの認知度は50%を超えている一方で、若い年齢層ほど認知度が低くなる傾向にありました。

今後は、若い世代に向けても積極的に広報活動に取り組んでいきます。

### ? 高知市に住みつづけたいですか



定住意向のある方の割合は90%を超えている一方で、若い年齢層ほど「できれば移りたい」「すぐにも移りたい」と答える割合が高い傾向にありました。

引き続き、若い世代も住みつづけてたいと思えるような定住施策に取り組んでいきます。

※集計結果の%は、小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%とならない場合があります。